

第14期 総会議事録

総会議事録

- 開催日時 2026年6月13日(土) 14時00分～14時40分
- 開催場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室9
- 出席会員 信原靖(北海道) 廣田雅幸(福島) 黒羽和之(茨城) 岡崎良明(栃木) 高橋利之(群馬) 坪居大介(埼玉) 今泉知也(千葉)
杉本光正(東京) 佐藤信彦(神奈川) 広江淳良(岐阜) 谷野守右(静岡) 小川和之(愛知) 市橋国之(京都) 内海洋(宮崎)
河合利幸(日本学生連盟) 野中好夫(日本デフ協会)以上16名 氏名に下線は代理出席
欠席会員 (岩手)(宮城)(秋田)(山形)(新潟)(山梨)(長野)(石川)(福井)(三重)(滋賀)(大阪)(兵庫)(奈良)(和歌山)(島根)(岡山)(広島)
(山口)(徳島)(香川)(愛媛)(福岡) 以上23名 うち、(議決権行使)7名 (委任状)16名

同席者 <理事> 村越真 大里真理子 鹿島田浩二 高島和宏 信原靖 石澤俊崇 今泉知也 吉村年史 中野智美 野中好夫 市橋国之
野村善弥 氏名に下線は会員としての出席を兼任
小林力 加納尚子 千葉望央 田中紅音 犬尾英里子 美濃部遼 (左記6名はオンライン同席)
<監事> 齋藤和助 中川義宏 齋藤宏頭
<顧問> 杉山隆司 (左記1名はオンライン同席)
<事務局長・記録> 小野賢二 山本賀彦 高島恵美子 以上3名
- 総会開催定足数確認 会員総数39、出席16、欠席23(内、議決権行使7及び委任状16)
定款第18条による総会開催定足数20を満たした。
- 大里副会長が定款17条第2項に従い議長となり開会した。
- 議事録署名人指名 定款第19条第2項により坪居大介(埼玉県)、杉本光正(東京都)両氏を議事録署名人に指名した。

審議事項

- 第1号議案 2025年度事業報告書案及び財務諸表案の承認、監査報告
小野事務局長より、2025年度の事業についての報告が実施された。
- ・地域活性化委員会により、九州地区の活動活性化の支援が行われた。
 - ・全日本オリエンテーリング選手権大会ロング競技がミドル大会での事故発生により中止となった。
 - ・ねんりんピック岐阜2025 オリエンテーリング交流大会併設大会を公認大会として認定した。
 - ・傷害保険の契約先を変更し、利便性の向上をはかった。
 - ・ガバナンス強化に取り組み、ガバナンスコード適合審査に合格した。

- 小野事務局長より、財務諸表についての報告が実施された。
- ・2025年度総会で承認を受け、基本財産1000万円を取り崩した。
 - ・2025年度は世界大会の複数開催により、経常収益・経常費用共に例年に比べ大幅に上昇した。
 - ・正味財産期末残高は前年度比で約820万円のマイナスとなった。

監査報告

齋藤和助監事より2026年5月12日に行なった監査の結果、以下の報告がなされた。

- 1.法人の業務執行については、法令、法人の定款及び事業計画等に基づき、適正に運営されていると認める。
- 2.事業報告は、法人の業務運営の状況を正しく示しているものと認める。
- 3.財務諸表等及び財産目録は、必要な財務状況を正しく示しているものと認める。

今泉業務執行理事・村越副会長より、2025年度の財務状況分析について説明があった。

- ・赤字の主な要因はWSOC開催費用の増加によるもので、2025年度限定の事情である。今後5年程度をかけて補填する予定。
- ・管理費は傷害保険の受益者負担化や事務局の経費削減により一昨年度より削減されたが、安定的な黒字とはなっていない。
- ・今後の国際大会開催については、十分な正味財産を確保するまでは抑制的な姿勢をとる方針としつつ、開催による活動の活性化、プレゼンスや大会の質の向上等、潜在的な価値を考慮しながら考えていきたい。

・地域活性化、安全策の構築、社会的プレゼンスの向上等積極的な運営には財政的な余裕が必要であるため、登録費、会費などの改正についても検討を進める。

質疑・意見

Q1 WSOC の予算段階での見込みと、今後の WMOC の予算の見通しについて(神奈川県)

A1 WSOC は予算段階では収支を合わせていた。ただし、宿泊数の変動や中東情勢による費用増加等想定外の事態が発生したこと、寄付金の獲得が不十分だったこと等が影響した。WMOC については、WMG から交付される収入に合わせて予算計画を行うため、費用の精査を行なっている。(村越副会長・信原理事)

Q2 赤字の回収について、確実に回収できる計画と進捗を示すなど確実な管理をお願いしたい。(岐阜県)

A2 回収計画は確度の高いものと確認している。進捗は可能な限り総会で報告したい。(村越副会長)

Q3 デフリンピックの参加者数について(栃木県)

A3 参加者数は約 80 名弱。(村越副会長)

Q4 委員会の事業報告に、実施出来なかった旨が羅列されているのは不適切ではないか。(岐阜県)

公開される報告書でもあり、実施できなかった事情等含めて記載されるとよいのではないか。(神奈川県)

A4 事業計画に対する結果として記載しているため、このような書きぶりとなっている。計画は今後取り組む課題として記載している面もあり、ボランティア的な活動のため計画通りに進まない点もあるが、書き方を工夫したい。(村越副会長)

質疑応答後、採決に入った。

第1号議案 2025 年度事業報告書案について

賛成 39 名(出席者 16、議決権行使 7、委任状 16(議長委任)、反対 0 名で承認された。

第1号議案 財務諸表案について

賛成 39 名(出席者 16、議決権行使 7、委任状 16(議長委任)、反対 0 名で承認された。

第2号議案 新任理事(日本学連)の承認について

(新任)美濃部 遼(日本学連幹事長) 湊 菜々子(日本学連普及部長)

質疑・意見

Q1 日本学連推薦理事の人数と辞任する理事について(岐阜県)

A1 日本学連推薦理事は 3 名。そのうち、石川翔太理事・川瀬智尋理事が辞任(小野事務局長)

Q2 日本学連は競技者登録費を免除されており、JOA の支援先団体とも考えられる。そのような団体から 3 名の理事を入れるのはバランスとして不適切ではないか?(岐阜県)

A2 会員からの会費の徴収や身分のあり方について後ほど意見を伺う予定であり、それも含め今後理事会等で議論していきたい。(村越副会長)

質疑応答後、採決に入った。賛成 38 名(出席者 15、議決権行使 7、委任状 16(議長委任)、反対 1 名で承認された。

この後、JOAと会員間および会員間同志での意見交換が行われた。

総会 2026年6月13日

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

総会議長

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

代表理事 副会長 大里 真理子 印

議事録署名人

埼玉県オリエンテーリング協会 会長 坪居 大介 印

議事録署名人

東京都オリエンテーリング協会 会長 杉本 光正 印